

地域医療支援病院

小田原市立病院

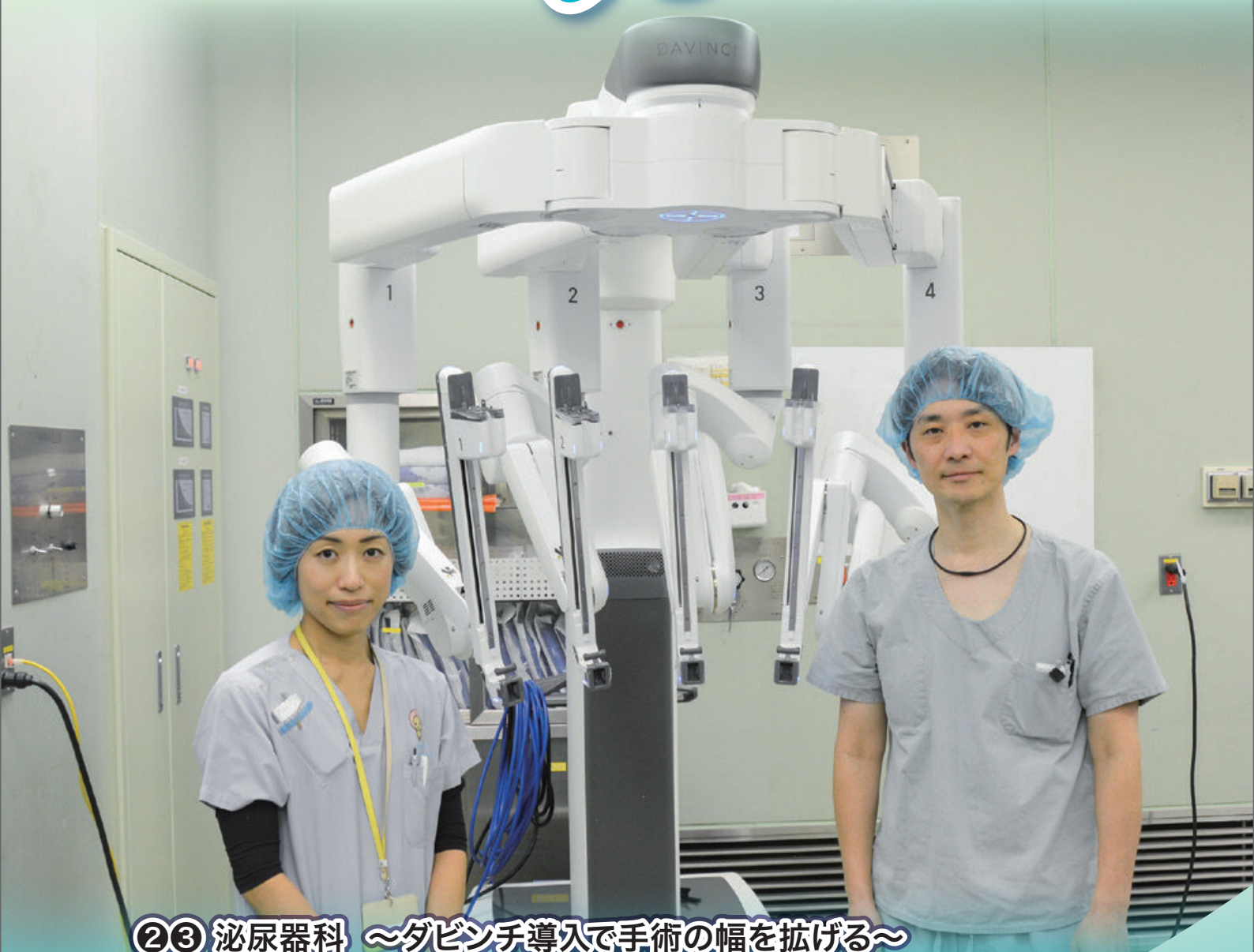
Odawara Municipal Hospital

広報誌

No.17

2024

エール



②③ 泌尿器科 ～ダビンチ導入で手術の幅を広げる～

④ 県西地域初!手術支援ロボット「ダビンチXi」を導入!

⑤ 新病院の建設工事が始まりました

⑥⑦ 特定行為看護師の活動 ～未来の医療を支える研修制度の実践～

⑧ 連携施設紹介

泌尿器科 ～ダビンチ導入で手術の幅を広げる～

泌尿器科は腎臓、膀胱、前立腺、男性生殖器等を主に診療する診療科です。

当院泌尿器科は常勤医師4名と非常勤医師により診療・治療を行っています。今年度から手術支援ロボット「ダビンチXi」を導入し、患者さんがより多くの手術を選択していただけるように体制を整えています。

高齢化社会の進行に伴い、泌尿器科診療のニーズは年々高まっており、尿路の悪性腫瘍のほかに前立腺肥大症、神経因性膀胱、過活動膀胱、尿路結石、尿路感染などの良性疾患についても幅広く診療しています。

ここでは泌尿器科疾患で特に多い悪性腫瘍（前立腺癌）、前立腺肥大症、尿路結石を中心に紹介します。



泌尿器科 医師

悪性腫瘍

泌尿器科領域で扱う癌として腎臓癌、膀胱癌、前立腺癌、精巣癌などがあります。前立腺癌については、PSA検診の普及により早期発見、早期治療が可能になっています。早期癌の場合には、症状を来すことがあまりなく、検診で指摘を受けて診断がつく場合がほとんどですので、検診が重要だとされています。

診断には2泊3日での前立腺針生検を行います。現在は麻酔科医師の協力もあり、痛みがなく検査ができています。

治療としては手術、放射線治療、薬物療法がありますので、患者さんの病状、社会背景など、それぞれにあった方針を提案し相談します。

手術療法に関しては、腹腔鏡手術での治療をメインにしていましたが、令和6年1月下旬から手術支援ロボット「ダビンチXi」を使用したロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術を開始しました。このダビンチ手術でさらに低侵襲で安全な治療が可能となり、疼痛の軽減、早期社会復帰、機能温存の向上など様々なメリットが期待できます。ダビンチ手術は前立腺全摘除術のほか、今後は、腎部分切除や膀胱全摘など様々な術式に広げていき、患者さんの体への負担が少ない低侵襲治療を積極的に進めてまいります。

※手術支援ロボット「ダビンチXi」については、4ページをご覧ください。



ダビンチ手術 初症例



ダビンチを操作する様子

診療案内

外来日	月	火	水	木	金
午前中	○	○	○	○	○

TEL 0465-34-3175 (代表)

受診される場合は、事前予約が必要ですが、緊急の場合は電話でご連絡ください。外国人の方は、院内に医療通訳が不在のため、日本語がある程度理解できる方と一緒に受診をお願いします。



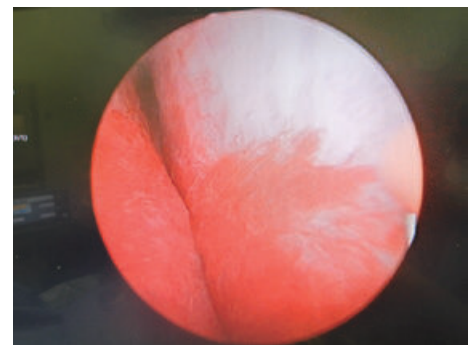
HPは
こちらから！

前立腺肥大症

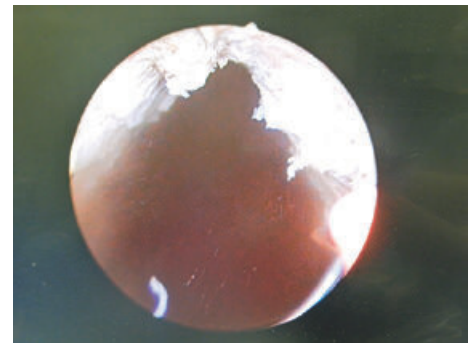
前立腺は男性にしかない臓器で精液の一部を作り、精子に栄養を与えたり、精子を保護する役割を持っています。膀胱の出口で尿道を囲んでおり、そのため肥大すると圧迫されて排尿に関わる様々な症状が出現します。ひどくなると、尿が出なくなってしまうなどの症状に至ることもあります。治療には薬物療法、手術などがあります。

薬物療法にはいくつかの内服薬があり、組み合わせるなどして患者さんの症状の改善を期待します。

手術に関しては尿道から内視鏡を挿入して肥大した前立腺を内側から切除し尿の通り道を広げる手術です。手術によって、今まで排尿できなかったが自力で出るようになった、今までに比べて尿の勢いがよくなった、などの効果が期待できます。手術時間は3-4時間程度で、入院期間は6-7日ほどです。



尿道が圧迫されている(手術前)



改善した尿道(手術後)

尿路結石

結石の位置によって腎結石、尿管結石、膀胱結石、尿道結石があります。

尿管に位置する尿管結石は特に痛みや感染、腎臓の機能低下を引き起こすことがあります。

小さな尿管結石であれば適宜鎮痛薬を使用しながら自然に排石されるのを待ちます。

大きな結石や自然に排石されないような場合には治療をお勧めします。

当院では日帰りのできる体外衝撃波結石碎石術、入院での経尿道的尿管結石碎石術 (TUL) を行っています。結石の位置や大きさによりこれらの術式の適応を判断します。

尿路結石は再発する可能性が高い疾患です。予防のため十分な水分摂取、偏りのない食生活を心がけましょう。当院では結石の分析を行うことができ、結果によって再発防止の一助となります。

ここで取り上げることのできなかった泌尿器科疾患は様々ありますので、なにかお困りの際はご相談ください。今後も地域の皆様の健康促進に寄与していけるように努めてまいりますので何卒よろしくお願い致します。

県西地域初！手術支援ロボット「ダビンチXi」を導入！

市立病院では、安全に高度な治療を提供するため、最新鋭の手術ロボット「ダビンチXi」を導入しました。

ダビンチ手術をより身近に

がんや良性腫瘍などを摘出する腹腔鏡手術に使われる「ダビンチXi」は、執刀医がロボットアームをコントロールし、患者さんへの負担が少ない手術をするためのロボットです。

ダビンチでの手術は、従来の腹腔鏡手術と同様に、体に小さな穴を開け、3Dカメラの内視鏡とロボットアームを挿入し、体内の立体的な画像を見ながら、医師がロボットアームを遠隔操作します。認定ライセンスを受けた熟練の医師が執刀し、ロボット手術チームがサポートします。ロボットが医師の手術を支援するため、正確で安全な手術が期待でき、術後にもさまざまなメリットがあります。

これまで県西地域では、ダビンチによる手術を希望する場合、地域外の病院を利用する必要がありましたが、今後は小田原市立病院で受けることができます。ダビンチ手術を希望する場合は、かかりつけ医に相談し、紹介状を持って来院をしてください。



ダビンチ手術のメリット

患者さんの負担を軽減します

小さな穴を数カ所開けるだけなので、開腹手術と比べて傷口が小さく、術後の痛みが少なくなります。出血も少なく入院期間が短くなるため、早期の社会復帰が可能です。

安全で高度な手術を受けられます

人間にはどうしても生じてしまう手先の震えを、手ぶれ補正機能で取り除き、ロボットアームに伝えます。ロボットアームの先端は関節が複数あり、人の手首以上の可動域を持つため、従来の手術では困難であった部位にも届きます。また、3Dモニターで術野を10倍に拡大して見ることができるので、細部の手技を正確に行えます。



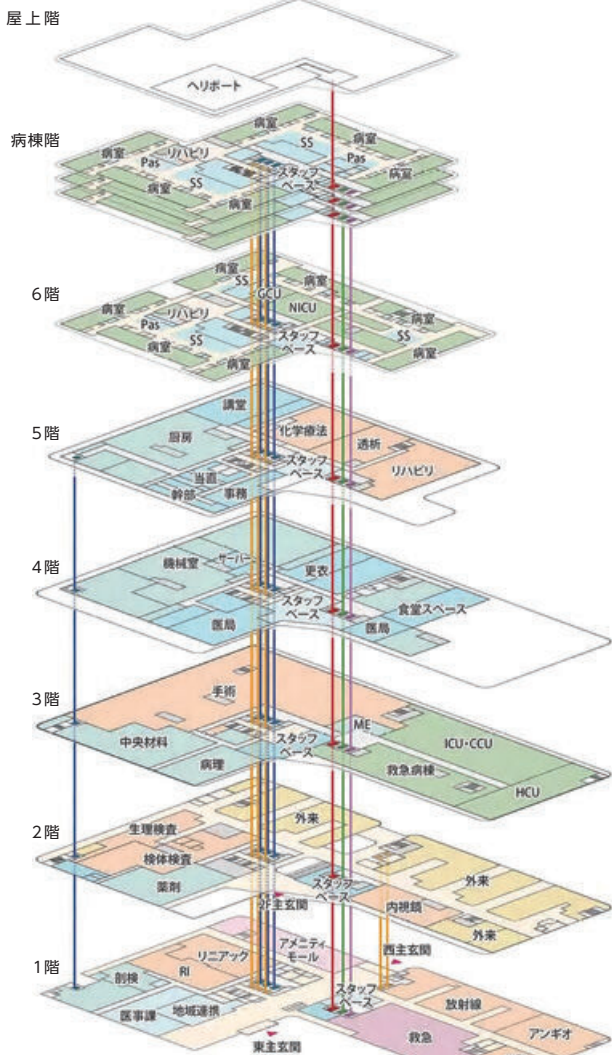
「ダビンチXi」の導入やシミュレーションの様子は、市立病院ホームページをご覧ください。

市立病院で行えるダビンチ手術

泌尿器科 前立腺全摘除術
産婦人科 子宮全摘除術、仙骨腫固定術

※この他にも、呼吸器外科や消化器外科など実施できる手術を順次増やしていく予定です。

新病院の建設工事が始まりました



※イメージとは異なる場合があります

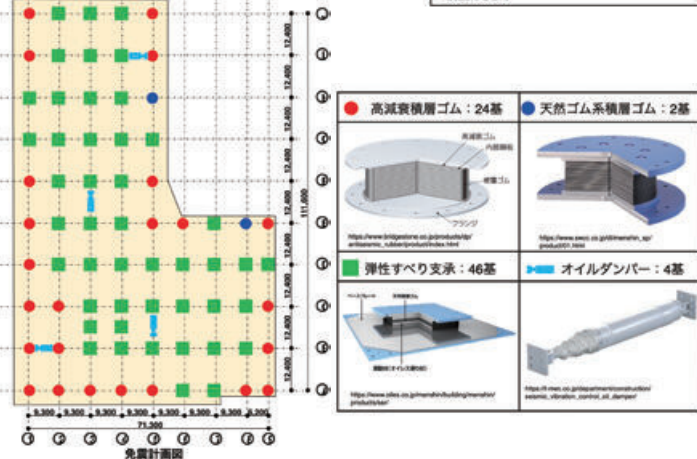
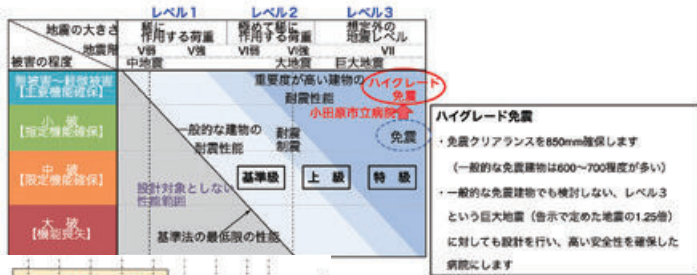
新病院建設工事は、1月6日に起工式を行い、9日から本格的に着工しました。大地震が発生しても病院機能が維持できる強い病院をつくりまします。

○建築計画（フロア概要）

- R階 ヘリポート
- 7-9階 一般病棟 / 各階リハビリテーション室
・4床室と個室で構成し約30%を個室とします。
- 6階 一般病棟 / 小児病棟 / 産科・女性病棟 / 分娩室 / NICU (新生児集中治療室) / GCU (新生児回復室)
・産科病棟にLDR2床を配置します。
- 5階 リハビリテーション / 透析 / 化学療法 / 講堂 / 厨房 / 管理部門
・長時間治療の患者に静かな環境を提供します。
- 4階 機械室 / 医局
・河川氾濫リスクを考慮し4階に配置します。
- 3階 手術室 (10室) / 集中治療室 (ICU・HCU) / 救急病棟 / 中央材料
・効率的な医療を提供するため集約配置します。
- 2階 外来 / 検体・生理検査 / 薬剤 / 内視鏡 / カフェ
・快適な待ち時間が過ごせるカフェを配置します。
- 1階 救命救急センター / 総合案内 / 患者サポートセンター / 医事部門 / アンギオ / 放射線 / リニアク・核医学 / コンビニ / 図書コーナー
・快適な待ち時間が過ごせるカフェを配置します。

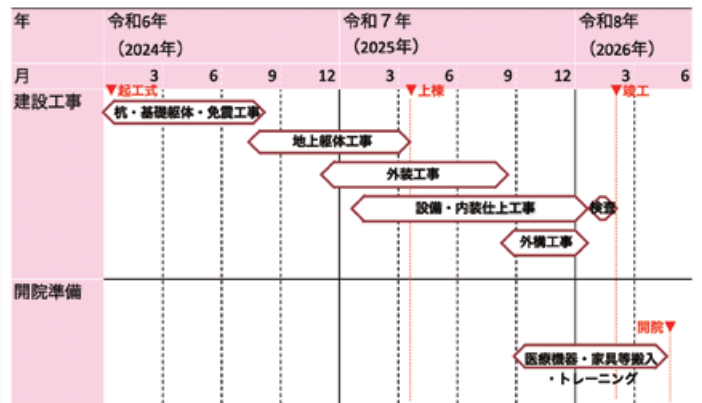
○部門	○エレベーター (EV)
救急	救急用 (手術・分娩搬送)
外来	寝台用 (患者診療搬送)
診療	感染用 (平時寝台用利用可)
供給	業務用 (職員・物品・給食搬送)
アメニティ	来客・患者用 (病棟・外来)
病棟スタッフエリア	
スタッフベース	

○免震構造計画



- ・地震災害後の病院機能を維持するため、神奈川県西部地震を考慮したハイグレード免震構造とします。
- ・一般的な免震構造よりも長周期化させ、建物への入力エネルギーの最小化を図ります。
- ・建物外周部に剛性の高い積層ゴムを配置し、地震・風によるねじれ変形の少ない計画とします。

○スケジュール



特定行為看護師の活動 ～未来の医療を支える研修制度の実践～

当院は、地域医療支援病院として、その機能を発揮し地域医療を支えていくために、より実践的な看護師を育成して地域全体の医療・看護の質の向上を目指しています。

そこで、当院における県西地域の医療・看護をリードする「将来を見据えた計画」の1つとして、2022年7月から特定行為研修を開講し、研修修了者が医療の現場で、チーム医療における中心的な役割を担い、その能力を発揮し、患者さんを治療と生活の両面から支えています。



看護部長 佐々木 仁美

特定行為研修制度とは

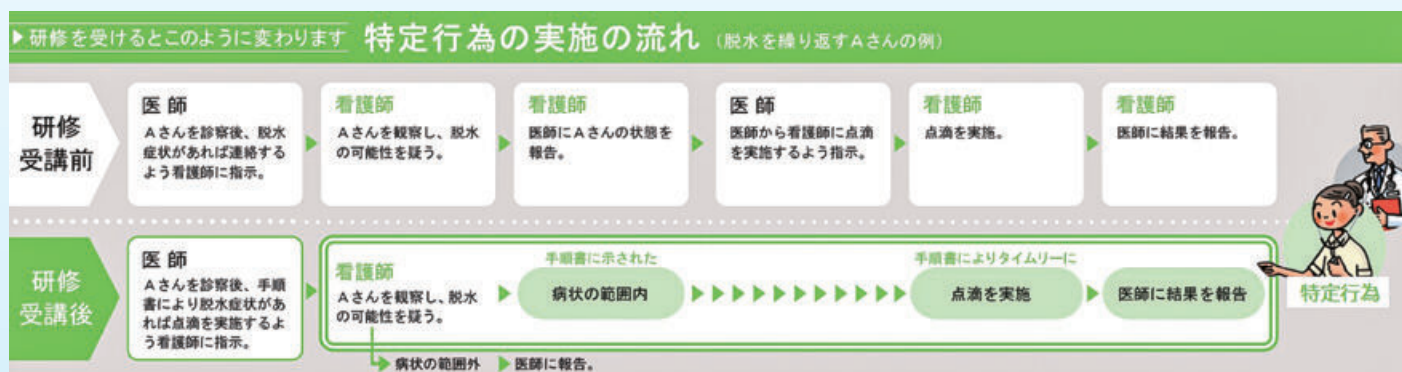
「特定行為に係る看護師の研修制度」は、未来の医療を支える研修制度として保健師助産師看護師法に位置付けられた研修で、2015年10月から開始されています。特定行為研修では、看護師が手順書により特定行為を行う場合に、特に必要とされる実践的な理解力、思考力及び判断力並びに高度かつ専門的な知識の取得と技能の向上を目指します。特定行為研修を修了した看護師が、手順書による医師の指示に基づいて、患者さんの状態等を判断し、必要があれば特定行為を実施することができます。

特定行為とは

特定行為は、診療の補助であって、看護師が行う医療行為のうち、手順書により行う場合には、実践的な理解力、思考力及び判断力、高度かつ専門的な知識・技能が特に必要とされるものとして定められた38行為21区分です。

特定行為看護師に期待される役割

特定行為研修により、医療安全に配慮し、チーム医療のキーパーソンとして高度な臨床能力を発揮できる看護師を育成し、その特定行為看護師が患者さんの状態を見極めタイムリーな対応ができることで、「治療」「生活」の両面から患者さんを支えられることが期待されます。



※厚生労働省の資料から抜粋

当院における特定行為研修の目的

医師の視点で「診る」、看護師の視点で「看る」ことができ、患者の立場で常に考えることができる看護師の育成を目指すために、次の目標を掲げています。

- 1 看護師の継続教育の推進（キャリア支援）
- 2 就業しながら研修できる病院組織内での体制整備
- 3 地域全体で質の高い安心・安全な医療が受けられる環境整備の構築

当院で研修できる特定行為区分

当院の特定行為区分研修は2コース。今年度から地域の病院から外部研修生2名が受講しています（表1）。当院は症例数も多く、医師の協力もあり指導体制は整備できており、外部研修生は実習も当院で引き受けます。

[表1 現在の特定行為区分と受講生一覧]

特定行為区分	受講生	
	2022年度	2023年度
● 栄養および水分管理にかかわる薬剤投与関連 ● 創傷関連	当院職員 3人	当院職員 1人 外部研修生 1人
● 栄養および水分管理にかかわる薬剤投与関連 ● 感染管理にかかわる薬剤投与関連	—	当院職員 1人 外部研修生 1人

当院で研修できる特定行為

現在、当院で実施できる特定行為は、15行為10区分です（表2）。創傷管理関連の「陰圧閉鎖療法」は、時間で「1行為20分」を要し、月30回程度の依頼があるため、月10時間（30回×20分）の業務を医師からタスクシフトされたこととなります。また、治療と看護ケアの力で、褥瘡が大幅に改善した事例も報告されています。

[表2 当院で実施できる特定行為と取得者数]

特定行為区分	特定行為	取得者数
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整 や脱水症状に対する輸液による補正	11人
創傷管理関連	褥瘡または慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去 創傷に対する陰圧閉鎖	5人
創部ドレーン管理関連	創部ドレーン抜去	1人
呼吸器（気道確保に係るもの）関連	経口用気管チューブまたは経鼻用気管チューブの位置の調整	1人
呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	侵襲的陽圧喚起の設定の変更	
手術領域	人工呼吸器からの離脱	
動脈血液ガス分析関連	直接動脈穿刺法による採血	
術後疼痛管理関連	橈骨動脈ラインの確保 硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整	1人
精神及び精神症状に係る薬剤投与関連	抗けいれん剤の臨時的投与 抗精神薬の臨時的投与 抗不安薬の臨時的投与	
感染に係る薬剤投与関連	感染兆候がある者に対する薬剤の臨時的投与	
血糖コントロールに係る薬剤投与関連	インスリン投与量の調整	1人

今後の発展性

2024年度は、救急領域、術中麻酔管理領域、認知症パッケージが開講予定です。特定行為研修が県西地域の医療や看護の質の向上につながることを期待し、より良い研修制度に向けて新たな試みや先進事例の活用のほか、他施設でも利用できる制度設計をしていきます。

また、PDCAサイクルのもと研修の企画・運営に取り組むとともに、他施設勤務の看護師の皆様も無理なく研修を修了できる環境整備にも努めています。

当院の取組は、地域の施設や病院、訪問看護ステーションの医師や看護職員の皆様も関心をお寄せいただいております。特定行為看護師の活動が地域のリソースとしても活用していただけるような体制の構築とフォローアップ研修の体制整備にも取り組んでいきます。

[研修会の様子]





富田さつき
院長

富田医院は小田原市の北東部にあり、最寄り駅は御殿場線の下曾我駅です。近くには曾我梅林があり、雄大な富士山が見えるのどかな地域です。今年で開業73年目を迎える内科クリニックで、現院長は、父から継承した2代目になります。現在、1歳から101歳までを診療し「一家丸ごと診る」町医者（家庭医）です。小田原市立病院の先生方には、患者さん達が全科において大変お世話になっております。また小田原市の肺がん検診読影会では、呼吸器内科・呼吸器外科・放射線科の先生方と一緒に読影の仕事をさせていただいております。また毎年、2～3名の初期研修医の先生方が、それぞれ1週間、当院に地域医療研修に来ており、一緒に診療しながら楽しい指導医生活を送らせていただいています。彼らが小田原や平塚など近隣の病院に戻ってきて活躍する姿

富田医院（内科）

を見ると、とても頼もしい気持ちになる今日この頃です。



地域医療研修の様子

住 所：小田原市曾我別所777-6

電話番号：0465-42-0822

F A X：0465-41-1689

診療時間：

午前9：00～12：00（受付時間 ～11：30）

午後3：00～18：00（受付時間 ～17：30）

休診日：土曜日午後・木・日・祝日

尾泉内科医院（内科）



尾泉 博
院長

箱根で開業して35年、人生の半分を過ごしたことになります。東京下町で生まれ育った生粋の江戸っ子で、環境の激変に戸惑いでしたが住めば都、山の懐に抱かれ自然と触れ合う日常は素晴らしく直ぐ魅了されました。場所柄、診療科を問わず取り敢えず診て欲しいと言う患者さんの要望で何でも屋になり、更にホテルや旅館の宿泊客にも対応していました。時代とともに専門性が求められ、紹介も仕事の一部になっています。超高齢化社会を迎え、ご多分に漏れず当院でも大部分がお年寄りで精密検査が必要、あるいは具合が悪くなり入院適応の人はいますが、比較的一人一人に時間をかけていられました。それもコロナ禍で一変し、院内は動線を分けられないので外での診察を余儀なくされ、PCR検査依頼や重症度判定、緊急性の有無etc、てんてこ舞いでした。病診連携は不可欠

で、とりわけ小田原市立病院には、あらゆる面で数え切れないほどお世話になっております。



尾泉内科医院

住 所：箱根町宮城野622

電話番号：0460-82-2423

診療時間：午前9：00～12：00

午後3：00～6：00

休診日：金曜、土曜日の午後、日曜、祝日